

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 2月1日

作成者: 田中宏紀

会議名: 平成27年度 第二回Cプロジェクト(食の地産地消推進プロジェクト)会議

日時: 平成28年2月1日(月)

場所: 玉津会館 会議室1

出席者: 赤井清司、金野弘子、藤原弘、堀井久嘉、岩佐芳江、林俊郎、藤木好美、石田美千代、澤田文字、
和田栄子、谷口喜久

出席者(行政): <玉津会館> 富田館長、田中主事 <守山市役所> 地域振興課: 井上係長

使用資料:

議題

1. 平成27年度 食の地産地消推進プロジェクトの活動報告について
2. 平成28年度 食の地産地消推進プロジェクトの活動計画について

会議要旨

内容

1. 平成27年度諏訪屋敷プロジェクトの活動報告
 - ①プロジェクトメンバーについて
 - ②平成27年度決算見込
 - ・別紙のとおり
 - ③諏訪屋敷プロジェクト活動実績
 - ・野菜の直売所を計5回開設。また、諏訪まつりにおいて諏訪鍋の調理、販売。
詳細は別紙のとおり
2. 今年度の反省および次年度に向けて
 - ・開設までの準備(提供者へのお願い、提供物の仕分け、など)が大変だった。メンバーの負担軽減が必要。
 - 事前準備について担当を決め手分けをする。
 - 1年間の直売所開設の計画を掲示し、提供(生産)してもらいやすいようにする。
 - ・提供物に不具合があった場合の窓口が必要である。
 - ・直売所の認知度をより高くしたい。
 - PR方法の再検討(学区広報紙以外にも)。
 - 自治会館にチラシを貼る。
 - クチコミをはじめとした地道なPR活動が重要。
 - ・開設時期について、提供野菜の収穫時期の都合から今年度と同様に、7月~11月を目安に開設。回数は5回を予定。
 - ・開設場所の再検討。
 - 今年度の諏訪屋敷、地域総合センター、ななまがり以外で開設してみてもどうか。
 - 老人憩いの家、児童センター、などが候補としてあがる。
 - 一度、試験的に開設してはどうか。
 - ・常設の屋台を作成し通年の直売所の計画。
 - 今後検討。

(裏面に続く)

決定事項

- ・直売所の開設(計5回)
- ・納豆の調理講習を開催

次回以降について

会議要旨

内容

3. 地産地消プロジェクト新規取り組みについて

- ・地元食材(湖魚、野菜など)を利用した伝統料理イベントをしてみてもどうか。
 - たとえば、(ぜいたく煮、えび豆、納豆、野菜の煮物、味噌、など)
 - 湖魚を使用した料理イベントについて、確保が難しい魚がいることを念頭においたほうがよい。
現在、漁協では「ライギョ」に力をいれている。
 - 玉津学区全体から関係者を引き込む。先人として製造されている方がいる料理がよい。
 - 赤野井に納豆を造っている方がいる。
 - 納豆の調理教室・講習を実施。